

様式第2号（第7条関係）

会 議 録

会 議 の 名 称		第4回川島町子ども・子育て会議
開 催 日 時		平成26年10月10日（金）午前10時～12時
開 催 場 所		川島町保健センター2階 商工会会議室
議 題		(1) 子ども・子育て支援新制度に係る各種基準条例について (2) 川島町（子ども・子育て支援事業）量の見込みについて (3) 川島町子ども・子育て支援事業計画について (4) その他
公開・非公開の別		公 開
非 公 開 の 理 由 (非公開の場合のみ)		
出席者	委 員	1号委員：中谷茂一、高倉富美子 2号委員：加藤恭平 3号委員：荒井章代、渡辺英夫、金朝子、蓮見重人、 中川まり子、谷嶋久美 5号委員：笛木小春、石津瑞枝、新井久美子
	事務局職員	子育て支援課：井上和夫、松本竹司、矢島史康
配 布 資 料		資料1-1 川島町特定教育・保育施設及び特定地域型保育事業の運営に関する基準を定める条例の概要 資料1-2 川島町家庭的保育事業等の設備及び運営に関する基準を定める条例の概要 資料1-3 川島町放課後児童健全育成事業の設備及び運営に関する基準の概要 資料2 川島町（子ども・子育て支援事業）量の見込みについて 資料3 川島町子ども・子育て支援事業計画目次（案） 参考資料1 川島町特定教育・保育施設及び特定地域型保育事業の運営に関する基準を定める条例 参考資料2 川島町家庭的保育事業等の設備及び運営に関する基準を定める条例 参考資料3 川島町放課後児童健全育成事業の設備及び運営に関する基準を定める条例 参考資料4 子ども・子育て支援新制度なるほどBOOK（平成26年9月改訂版） 参考資料5 川島町審議会等の会議の公開に関する要綱 参考資料6 川島町パパ・ママリフレッシュ講座募集チラシ

審議会等の内容・概要

1. 開会
2. あいさつ
3. 議題

(1) 子ども・子育て支援新制度に係る各種基準条例について

○事務局より説明しました。(資料1-1~1-3をご参照ください。)

【中谷会長】この条例は可決されたのですか。

【事務局】9月議会において可決されました。

【笛木委員】私立とねがわ幼稚園は施設型給付を受けずに、現行のまま私学助成を受けるという事でしたが、他の施設は認定こども園にならなくても施設型給付を受けるのですか。

【事務局】公立の施設は全て施設型給付を受けるようになります。施設型給付を受けるか現行のままかということは選択できます。民間事業者の場合は、平成27年から認定こども園に移行するのは困難なため、様子を見るということです。

【加藤委員】各園が施設型給付になるのは任意ですか。

【事務局】公立は全て施設型給付になりますが、民間は選択できます。

【中谷会長】資料1-1のP6の耐火基準ですが、原則1階とありますが2階の場合はどういう基準なのでしょう。

【事務局】2階以上だと避難等や子どもの転落の危険があるので、今後は、可能な限り1階の施設で行うように指導していきたいと考えております。

(2) 川島町(子ども・子育て支援事業)量の見込みについて

○事務局及び川島町保健センター職員の中川委員より説明しました。(資料2をご参照ください。)

【金委員】資料2(5)の養育支援訪問事業ですが、計画値はないようですが、実施は必要なのではないでしょうか。各学校に特別支援学級があるので需要はあると思います。また、療育については、保護者が入園前に相談に来ているのが現状です。今後も必要だと思われるので、計画値は0ではなく検討してほしいと思います。

【中谷会長】養育支援訪問事業については、母子健康サービスで対応していくとありますが、具体的にどのようなことをやっているのですか。

【中川委員】ご指摘のあった療育が必要なかたへの対応については、母子保健サービスの中で、訪問時の個別相談等により、包括的に対応しているのが現状です。

【金委員】全部の学校で特別支援学級があるので検討してほしいと思います。

【事務局】(5)につきましては、はっきりとした数字を出すのは難しいと考えています。そこで、計画では量の見込みは0とさせていただき、内容については、保健師と連携して検討したいと考えています。

【高倉委員】事業によってニーズ調査の結果から算出している場合と、現状値から算出している場合があります。その違いは何でしょうか。

【事務局】基本的にはニーズ調査の結果から出しています。ただ、あまりにも結果が現状値とかけ離れているものについては、精査して量の見込みを算出しています。

【中谷会長】(5)の養育支援訪問事業について、数値は0になりますが、様々な療育に関する対応も含め、検討することをお願いします。次に(8)の一時預かり事業ですが、ここだけは、現状値を補正し、他の事業は国の計算通りでやったようです。0～2歳の保育は全国的に大切と考えており、子育てしやすい町になれば人口減も食い止められるのではないのでしょうか。まずはこの数値に向かって事業を推進していくということが大切だと思います。

【笹木委員】病児保育の量の見込みは多いと思います。これはファミリー・サポート事業での緊急サポート事業で対応とありますが提供会員は見込み量以上いるのですか。

【事務局】量の見込みであります年間2,484人/日を365日で割ると、1日7人の利用となり、提供会員は十分に確保できると考えました。

【笹木委員】今の提供会員は何人ですか。

【事務局】現在は8名です。こちらについては、ファミリー・サポート会員の内、緊急サポート事業用の講習を修了した人が会員になります。

【笹木委員】東松山市では病院に1日2,000円で預けられます。川島は病院ではなく知らない人に預けることになります。これはとても不安なことです。病院で預けられるようにならないのでしょうか。

【中谷会長】非常に重要な意見です。病児・病後児保育は通常保育とは違うので対応を検討してもらいたいと思います。

【高倉委員】ファミリー・サポート事業と緊急サポート事業の違いはどのようなことですか。

【事務局】通常のお預かりと送迎を行うものがファミリー・サポート事業となっており、緊急時に預かるのは緊急サポート事業となっています。ファミリー・サポート事業の会員は10名となっており、その内、緊急サポート事業の会員は8名となっております。

【高倉委員】病児は通常と違うので、事故や何かあったときに困ります。預かっていただくかたとのマッチングもあるので数字の上だけでなく、もっと検討してもらいたいと思います。

【事務局】病児・病後児保育の内容については、今後、検討をしていきたいと思います。

【高倉委員】(8)の一時預かり事業ですが、現状は年間3,804人/日でH27年度は年間9,000人/日となっています。確保できる量としては多すぎないのですか。

【事務局】私立とねがわ幼稚園は、現在、一時預かりの定員は設けておらず、現状と比較して、年間7,000人/日くらいは確保できると伺っております。これに加え、さくら保育園で2,000人/日を確保し、年間9,000人/日としました。

【中谷会長】ショートステイですが、他市町村と連携してとあるが、具体的な受け入れ先は決まっているのか。

【事務局】現在は、まだ特に決まったものはありません。

【中谷会長】(4)の乳児家庭全戸訪問事業ですが、全戸とありますが断られた世帯はいくつありますか。

【中川委員】毎年2戸くらいです。

【中谷会長】断られた理由と、その際の対応等はどのようなことを行っていますか。

【中川委員】断られたケースとしては、子どもが4人目のため必要ないや、仕事のため等です。また、その後の対応については、乳児健診時に確認し、それでもダメなときは保健師が訪問します。

【中谷会長】小さい子のうちが重要なので、全ての家庭に訪問できるようにしてください。

【渡辺委員】幼稚園と保育園の利用人数は合計で約8割となっている。残りの2割は家庭で保

育しているのでしょうか。

【金 委 員】 3歳児で年少組に入っていない子どもではないでしょうか。

【事 務 局】 この数値（下表項目その他の85人）の内訳については、事務局では把握できていません。今後、可能な限り調査し、次回以降にお示ししたいと思います。

【中谷会長】 では、次回示してほしいと思います。

（参考）

平成25年度	
人口（3歳～就学前児童）	442人
幼稚園利用人数	251人
保育園利用人数	106人
その他	85人

（3）川島町子ども・子育て支援事業計画について

○地域計画株式会社 福田氏より説明しました。（資料3をご参照ください。）

【金 委 員】 いつまでにこの計画を作るのですか。

【事 務 局】 今年度内での作成となります。

【新井委員】 資料3の5章2は先ほどの資料がそのまま記載されるのですか。

【事 務 局】 先ほども多くのご意見がありましたので、量の見込みについては、もう一度数字を精査して記載したいと思います。また、算出方法や確保方策の詳細についても、記載いたします。

【中谷会長】 先ほどの議論の内容を計画に反映するようにしてほしいと思います。


【事 務 局】 了承しました。

（4）その他

○事務局より、審議に関する要綱及び川島町パパ・ママリフレッシュ講座についての説明をしました。

○会議録署名委員は、会長の指名により、高倉委員及び加藤委員に決定しました。

以 上

署 名	高倉 富美子	
	加藤 恭平	